

第2回香川県がん診療連携協議会議事要旨

1 日 時 平成21年6月26日（金） 16：00～17：20

2 場 所 アルファあなぶきホール小ホール棟4階大会議室

3 出席者 別紙のとおり

4 議 事

議事に先立ち、香川県がん診療連携協議会会長である香川大学医学部附属病院の石田病院長から挨拶があった。

引き続き議長の選出があり、石田病院長が選出された。

議長より、本日の協議会は、部会構成員を交えての会議である旨説明があり、併せて了承された。また、前回第1回香川県がん診療連携協議会の議事要旨について、資料1を確認していただきたい旨依頼があった。

（議事）

1. 平成21年度における具体的な取組策等について

・情報・広報部会

合田部会長から、資料2に基づき、香川県がん診療連携協議会のホームページの作成及び更新に関する申合せの制定（香川県がん診療連携協議会に係るホームページの作成に関する申合せ）についての説明があり、ホームページ立ち上げは、7月上旬を予定している旨発言があった。

議長から、緩和ケア研修会に関する事項のホームページの掲載について、情報というのは共有化すべきもので、できるだけリンクをしながら公開し、厚生労働省の報告の中に不都合がなければ、受講者の公開の可否に副いホームページに掲載していただきたい旨依頼があった。

・研修・教育部会

寛部会長から、資料3に基づき説明があった。また、現在現実的になっている研修は、文部科学省の中国・四国広域がんプロフェッショナル養成プランにおいて実施されている集中セミナーなので、これを活用し、より多く参加していただくために、実施計画が判明次第、情報・広報部会を通じて、各拠点病院に案内するとともに、香川県医師会に連絡し、医師会報への掲載をしていただきたい旨依頼があった。

議長から、セミナーの案内というのは、ホームページを使って検索すべく、当協議会のホームページからもリンクし、活用していただきたい旨依頼があった。

・緩和医療・相談支援部会

吉澤部会長から、資料4に基づき、緩和ケア研修会の実施状況及び実施計画、がん患者会との連携、香川大学医学部が計画している緩和ケア認定看護師の育成策の説明があった。

議長から、香川県がん対策推進協議会が先行し、新しく香川県がん診療連携協議会ができ、この二つが機能的に情報を一元化し、また、誰が見ても分かるような勉強会を開催し、地元繋がっているK-MIXも利用し、患者には全ての情報を公開していただきたい旨依頼があった。

・院内がん登録部会

合田部会長から、松浦委員が指名され、資料5に基づき、院内がん登録を行っている実務者担当会議を設置したこと、6月12日から14日までの国立がんセンターによる各拠点病院の視察状況が報告され、院内がん登録の制度アップ等及びシステム開発について検討している旨説明があった。

議長から、院内がん登録はできるだけ共通したフォーマットでなおかつすぐに活用できるよう、香川県は率先してモデルを作成してほしい。また、香川県がん診療連携協議会ができ、これはひとつのチャンスなので、これからチャレンジすることは、データベースを活かし、香川県、香川県医師会及び各拠点病院すべてを共有化し、がん登録は誰のためにあるのかを踏まえ、香川県全体で試みていただきたい旨依頼があった。

・地域連携・パス部会

青江部会長から、資料6に基づき、各拠点病院及び香川県医師会からの推薦を取り5大がんの香川県がん診療連携協議会地域連携パス専門部会を結成し、地域連携クリティカルパスを作成していく旨説明があった。

議長から、地域連携パスは香川県全域で活用できる共通的なパスにする必要がある。新しい発想の中で、かなり時間が掛かるが、部会に協力していただきたい旨依頼があった。

2. 香川県がん診療連携協議会に係る部会運営に関する申合せ（案）について

事務局松岡室長から、資料7についての提案理由及び申合せ（案）の説明があった。

高木香川県健康福祉部医務国保課長から、当協議会は、医療に携わる専門家としての見地から積極的に進めていただきたい旨依頼があった。

その後、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、議長から、本部会設置申合せについて、平成21年6月26日付け制定及び施行とする旨説明があった。

3. 香川県がん対策推進協議会の議事概要について（報告）

高木香川県健康福祉部医務国保課長から、資料8についての報告があった。

4. その他

・議長から、次回第3回香川県がん診療連携協議会は、全国都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会が毎年7月に開催されるので、全国会議終了後に開催する旨発言があり、併せて承認された。